

社会福祉法人 八王子いちょうの会

平成30年度 事業報告

1. 総括

社会福祉法人制度改革への対応にも落ち着きを見せ始めた30年度、各事業所の運営内容については、ほぼ例年通りでありましたが、職員募集については29年度と同様に、とりわけグループホームわっしょいにおいて苦戦を強いられました。福祉業界の人手不足は全国共通のことですが、引き続き、利用者支援に影響が出ないように、また同時に、職員の労働環境にも最大限の配慮をしていきたいと考えています。

毎月定例開催している施設長会議においては、事業運営の根幹たる基本理念の解釈について、数か月間かけて再考し、まとめあげました。理念に込められた想いを言葉にしたその解釈に基づいて、真に必要なとされるサービスの提供をふれずに目指していくとともに、中長期計画についても改めて策定していく所存です。

本年度も多くの課題を持ち越すこととなった一年でしたが、利用者ならびにご家族の皆様をはじめ、関係者、地域の皆様から様々なご支援、ご協力を賜りましたことに対して心から感謝するとともに、法人として一つ一つの課題に真摯に向き合っていきたいと思っております。

2. 施設経営と事業展開

平成30年度も、生活介護事業、就労継続支援B型事業、共同生活援助事業、短期入所事業、移動支援事業を実施しました。

- ア いちょう工房東浅川は、生活介護事業を展開
- イ いちょう工房みらいは、生活介護事業を展開
- ウ いちょう工房虹は、生活介護事業を展開
- エ いちょう工房そらは、就労継続支援B型を展開
- オ いちょう工房ゆぎは、生活介護事業と就労継続支援B型の多機能型を展開
- カ いちょう工房ぎんなんの家は、生活介護事業を展開
- キ アイビーは、共同生活援助事業を展開
- ク ふ・ふ・ふは、短期入所事業を展開
- ケ わっしょいは共同生活援助事業を展開
- コ 移動支援事業を展開

■生活介護事業

日中、食事や排せつ等の介護及び創作活動や生産活動の機会を提供する。利用者の人権、尊厳を重視し、ご本人の持つ能力を大切にしながら自立への営みを支え、健康管理、体力づくり、また、それぞれにあった地域への積極的参加のための支援を行う。

■就労継続支援B型事業

日中、就労や生産活動の機会を提供するとともに、一般就労に必要な知識、能力が高まった方に対しては、一般就労等への移行に向けて支援を行う。また、一般就労を目的としない方についても、生産活動を通して社会参加への自覚、生活リズムの安定を維持したうえでの、利用者それぞれの能力を大切にされたご本人の望まれる形での自立に向けての支援を行う。

■共同生活援助事業

入浴・排せつ・食事などの介護、調理・洗濯・掃除などの家事、生活等に関する相談・助言、就労先その他関係機関との連絡及びその他の日常生活上のお世話をし、自宅と大きく変わらない生活環境を提供する。その中で健康管理はもちろん、地域の利用者も含めた交流を図り、地域との関係性を高める。

■短期入所事業

緊急避難・ご家族のレスパイト等利用者が居宅生活を継続するために短期間の入所をしていただき、入浴・排せつ・食事の介護などを提供する。

3. 理事会・評議員会の開催

【理事会】

回	開催年月日	審議事項	出席状況
第一回	平成30年6月2日	平成29年度事業報告及び決算報告	理事 6名 監事 2名
第二回	平成30年11月10日	第一次補正予算案	理事 5名 監事 2名
		運営規程変更	
		評議員選任の提案	
		次回評議員会の開催	
第三回	平成31年2月9日	平成31年度各事業所施設長及び事務局長体制	理事 5名 監事 2名
		第二次補正予算案	
		評議員の解任及び選任の提案	
		次回評議員会の開催	
第四回	平成31年3月9日	平成31年度事業計画及び当初予算	理事 6名 監事 2名
		賃金規程改定案	
		職員就業規則改定案	
		契約職員就業規則改訂案	
		パート職員就業規則改訂案	
		育児・介護休業規程改定案	
次回評議員会の開催			

【評議員会】

回	開催年月日	審議事項	出席状況
第一回	平成30年6月16日	平成29年度事業報告及び決算報告	評議員 5名
第二回	平成30年11月24日	第一次補正予算案	評議員 4名
		運営規程変更	
第三回	平成31年2月23日	平成31年度各事業所施設長及び事務局長体制	評議員 6名
		第二次補正予算案	
第四回	平成31年3月23日	平成31年度事業計画及び当初予算	評議員 6名
		賃金規程改定案	
		職員就業規則改定案	
		契約職員就業規則改訂案	
		パート職員就業規則改訂案	
		育児・介護休業規程改定案	
理事の選任及び解任			

4. 諸会議・委員会の開催

会議名	開催年月日
施設長会議	4/18、5/23、6/20、7/18、8/22、9/19、10/31、11/28、 12/19、1/5、1/23、2/21、3/20 以上、全13回
事業所連絡会	4/25、5/30、6/27、7/25、8/29、9/25、10/31、11/21、 12/26、1/30、2/27、3/27 以上、全12回
研修委員会	5/9、6/14、10/10、11/27 以上、全4回
防災委員会	5/15、7/10、9/11、3/12 以上、全4回
広報委員会	5/9、6/13、8/28、12/3 以上、全4回

5. 職員研修について

①法人内研修

研修内容	対象者	講師	実施回数
新人研修	新入職員	施設長	1回(5月)
利用者の笑顔を引き出す チームの作り方	全職員	外部講師	1回(9月)
実践報告会	全職員	施設長等	1回(11月)
安全運転講習会	運転者	外部講師	1回(12月)

②法人外研修・行政説明会等

研修内容	主催者
事業所見学・交流会	八王子市
八王子市日中活動支援事業所連絡会	八王子市
平成30年度第1回障害者虐待防止法研修	八王子市
平成30年度第2回障害者虐待防止法研修	八王子市
平成30年度第3回障害者虐待防止法研修	八王子市
平成30年度第4回障害者虐待防止法研修	八王子市
平成30年度東京都施策について	東京都手をつなぐ育成会
平成30年度法改正の肝と事業の未来について	東京都手をつなぐ育成会
平成30年度中級中堅研修について	東京都手をつなぐ育成会
富山型共生サービス施設見学ツアー	八王子市
サポーターズカレッジ研修	東京都手をつなぐ育成会
平成30年度社会福祉従事者人権研修	東京都
地域法人実践発表会	地域法人協議会
葉と口の健康づくり実践報告会	東京都保健所
あらためて確認したい行動障害支援	公益財団法人鉄道弘済会
行動障害と虐待のメカニズム	公益財団法人鉄道弘済会
箱根一泊研修	東京都手をつなぐ育成会
平成30年度管理職員研修	東京都社会福祉協議会
社会福祉法人会計入門研修	東京都福祉人材センター
ヒヤリハット報告及び事故分析の基礎研修	お茶の水ケアサービス学院

6. 虐待防止について

別表の通り、虐待防止に関する研修に参加する他、平成30年度も年に2回「虐待防止職員セルフチェック」、年に3回法人独自の「自己チェック」を各事業所の職員会議にて行いました。

7. 広報活動について

別表の通り、全4回の広報委員会を開催し、機関紙である「いちよう通信」については第24号から第26号までの4回発行をしました。29年度より法人ホームページの大幅な見直しを課題としていましたが、来年度に持ち越しになりました。

8. 防災対策について

別表の通り、全4回の防災委員会を開催し、平成30年9月11日に法人全体での避難訓練、その後、各事業所それぞれで2回目の避難訓練を実施しました。また、AED研修について、研修日時をグループホームも含めた全事業所で情報共有し、夜勤従事者が日中事業所の研修に参加するなどの工夫をしました。

9. 労務管理と人事制度等について

労務管理については昨年に引き続き社会保険労務士に委託をし適正な労務管理を行ってまいりました。とりわけ、処遇改善加算について、平成31年度において処遇改善加算Ⅰを取得することを目指していくための制度構築を行うとともに、就業規則・賃金規程の整備を行いました。福利厚生については定期健康診断の実施、また、昨年に引き続き、八王子市勤労者福祉サービスセンター(やまゆりセンター)の加入(慶弔給付金の給付、各種レクリエーション事業への参加、遊園地等施設の割安な利用)を継続し、従業員の雇用の安定、士気の高揚による事業の発展につなげました。

10. 財務管理について

社会福祉法人専用の会計ソフトの導入と同時に社会福祉法人に特化した経営コンサルティングと業務委託契約を結んでから早4年、ソフト操作や定期的な巡回にもすっかり慣れました。決算においては昨年度を上回る収支差額となりましたが、そのひとつの大きな要因として、職員採用が進まなかったことが原因となり、かけるべき人件費をかけることができなかったということがあるため、この課題については、財務管理の枠を超え、広く人的資源の適切な管理及び増加の方途を常に考えていく必要があります。

11. 行事等への参加・開催について

5月に福祉祭り、9月に地域との交流を目的としたすずかぜ祭、10月にふれあい運動会、11月にいちょう祭り、1月に新年会、2月に手作り作品展などの参加・開催を致しました。